



**Grass Valley**

# **EDIUS® 11**

**EDIT ANYTHING. FAST**

他者のジョブを操作する権限を  
付与する手順書

2024年11月

---

## Copy and Trademark Notice

Grass Valley®, GV® and the Grass Valley logo and / or any of the Grass Valley products listed in this document are trademarks or registered trademarks of GVBB Holdings SARL, Grass Valley USA, LLC, or one of its affiliates or subsidiaries. All third party intellectual property rights (including logos or icons) remain the property of their respective owners

Copyright ©2024 GVBB Holdings SARL and Grass Valley USA, LLC. All rights reserved.

Specifications are subject to change without notice.

Other product names or related brand names are trademarks or registered trademarks of their respective companies.

## Terms and Conditions

Please read the following terms and conditions carefully. By using EDIUS documentation, you agree to the following terms and conditions.

Grass Valley hereby grants permission and license to owners of to use their product manuals for their own internal business use. Manuals for Grass Valley products may not be reproduced or transmitted in any form or by any means, electronic or mechanical, including photocopying and recording, for any purpose unless specifically authorized in writing by Grass Valley.

A Grass Valley manual may have been revised to reflect changes made to the product during its manufacturing life. Thus, different versions of a manual may exist for any given product. Care should be taken to ensure that one obtains the proper manual version for a specific product serial number. Information in this document is subject to change without notice and does not represent a commitment on the part of Grass Valley.

Warranty information is available from the Legal Terms and Conditions section of Grass Valley's website ([www.grassvalley.com](http://www.grassvalley.com)).

---

# TABLE OF CONTENTS

Copy and Trademark Notice .....	1
Terms and Conditions .....	1
はじめに .....	3
概要 .....	3
動作要件 .....	4
他の編集者のジョブを操作できるようにする .....	5
SID の取得 .....	5
JSON ファイルを作成する .....	5
SID を登録する .....	6
動作確認 .....	7
他者のジョブを操作できるユーザーを追加する .....	8
登録した SID を削除する .....	10

# はじめに

## 概要

11.12.15602 以前の Chorus Hub システムでは、各編集者はジョブモニターで送信済み/進行中のジョブを表示・操作できます。この時の操作対象は自分自身のみでなく、他者のジョブも操作できます。

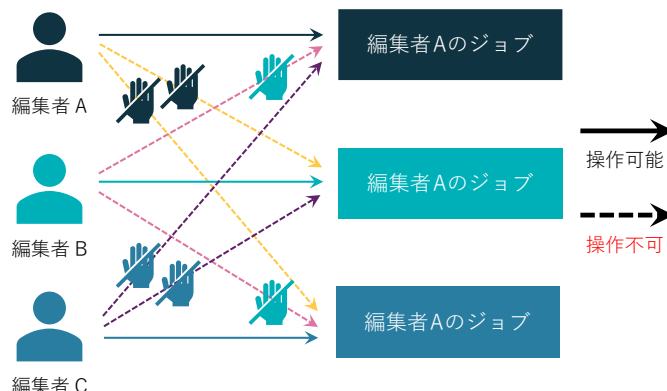
11.12.15979 以降は、自分が送信したジョブのみを操作できるようになります。他の編集者のジョブを表示することはできますが、操作することはできません。

ユーザーID(SID)を登録することで、他の編集者のジョブを操作することができます。この文書では、ジョブモニターで他の編集者のジョブ操作を許可する方法を説明します。

### 用語解説

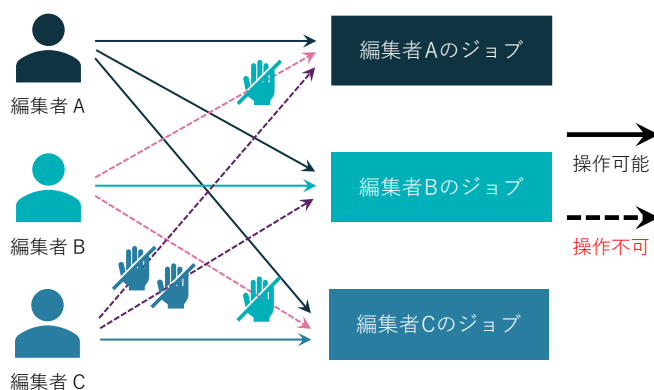
1. 「ジョブモニター」とは EDIUS の [ジョブ] タブ、ならびにスタート > Grass Valley > GV Job Monitor を選択して起動する GV Job Monitor の両方を指します。
2. 「ジョブの操作」とはジョブモニターにある一時停止、再開、キャンセル、ならびにジョブの優先度の変更を指します。

## デフォルトの動作



編集者 A は、ジョブモニターで編集者 B と編集者 C のジョブを表示することもできます。ただし他の編集者のジョブは操作できません。

## 編集者 ID の登録後



この例では、編集者 B と編集者 C のジョブが、編集者 A のジョブモニターで操作可能になります。

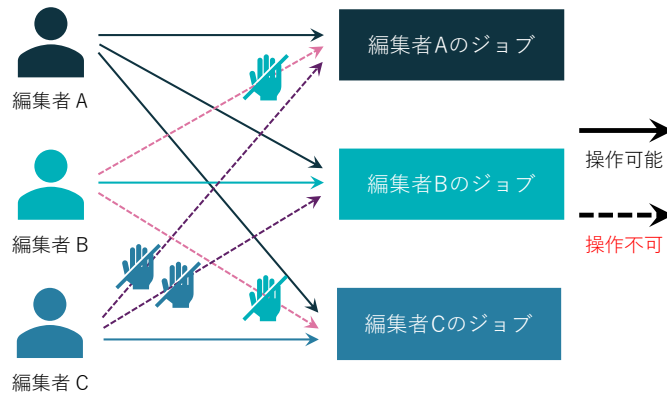
---

## 動作要件

バージョン 11.12.15979 の Chorus Hub システムが必要です。EDIUS 編集端末、Chorus Hub サーバー、外部レンダリングエンジンのすべてがこのバージョンになっている必要があります。

# 他の編集者のジョブを操作できるようにする

ここでは下図のように編集者 A が編集者 B, C のジョブを自身のジョブモニターで操作できるようにする手順を説明しています。



## SID の取得

EDIUS 端末で以下の手順で編集者 A の SID を取得します。

1. 編集者 A で OS にサインインします。
2. [ここ](#) をクリックしてツールをダウンロードします。
3. 任意のローカルドライブで **E11\_SID** フォルダー (例: **D:\E11\_SID**) を作成し、そこでダウンロードしたツールを解凍します。
4. **Gather\_SID.bat** をダブルクリックします。E11\_SID フォルダーに SID を含む SID.txt ファイルが保存されます。
5. Enter キーを押してツールを終了します。

編集者 A で OS にサインインしたまま、次の手順へ進んでください。

## JSON ファイルを作成する

1. E11\_SID フォルダーを開きます。
2. SID.txt と (Template\_New)config.json の両ファイルをメモ帳で開きます。
3. SID.txt の SID(赤字部分)をコピーします。

```
name          sid
-----
{DOMAIN}\editor A  S-1-5-21-1207755496-1392465844-4090504445-1432
```

4. (Template\_New)config.json の value の部分にコピーした SID(赤字部分)をペーストします。

```
{
  "configurationType": "System",
```

```
"classId": "com.grassvalley.eh.ui.jobMonitor",
"environment": "default",
"keys": [
  {
    "key": "operationPermittedUsers",
    "value": [ "S-1-5-21-1207755496-1392465844-4090504445-1432" ]
  }
]
```

**NOTE:**

複数の SID を登録する場合は、以下の書式で登録します。

```
"value": [ "SID","SID"... ]
```

5. 編集したファイルを **config.json** として保存します。
6. 開いたファイルを 2 つとも閉じます。

## SID を登録する

作成した config.json ファイルを使用して、以下の手順で SID を登録します。

1. 編集者 A で OS にサインインします。
2. E11\_SID フォルダーを開きます。
3. Register\_SID.bat をダブルクリックします。
4. 登録が完了すると以下のような情報が表示されます。

```
{
  "id": "cedb17710ccdcdbec12569c983dce08f",
  "rev": "1-f80b44741266d882cad218d4d96d4dbd5bf4984d",
  "created": "2024-11-12T09:13:39.3803193+00:00",
  "modified": "2024-11-12T09:13:39.3803193+00:00",
  "configurationType": "System",
  "classId": "com.grassvalley.eh.ui.jobMonitor",
  "environment": "default",
  "keys": [
    {
      "key": "operationPermittedUsers",
      "value": [
        "S-1-5-21-12007755496-1392465844-4090504445-1432"
      ]
    }
  ]
}
```

5. 表示(登録)内容について以下の点を確認します:
  - “operationPermittedUsers” キーが登録されていること。
  - “value” に SID が登録されていること。
6. Enter キーを押して終了します。

---

# 動作確認

---

下記手順で動作確認を行います。

1. 各端末で各編集者のユーザーで OS にサインインします。
2. EDIUS でファイルエクスポートを行います。
3. 編集者 A のジョブモニターで編集者 B,C のジョブが動作できることを確認します。



# 他者のジョブを操作できるユーザーを追加する

他者のジョブを操作できるユーザーを追加したい場合は以下の操作を行ってください。

**NOTE:**

追加したいユーザーの SID.txt ファイルをあらかじめ取得してください。

1. 編集者 A で OS にサインインします。
2. E11\_SID フォルダーを開きます。
3. Retrieve\_Cfg.bat をダブルクリックします。
4. 現在の設定が (ChorusHub)CurrentConfig\_YYYYMMDDHHMMSS.txt として保存されます。
5. 手順#4 のファイルをメモ帳で開きます。
6. com.grassvalley.eh.ui.jobMonitor を検索します。
7. 赤枠で囲んだ部分を “ ” と、マークを含めてコピーします。

```
"id": "cedb17710ccdcbec12569c983dce08f",  
"rev": "1-f80b44741266d882cad218d4d96d4dbd5bf4984d",  
"created": "2024-11-12T09:13:39.3803193+00:00",  
"modified": "2024-11-12T09:13:39.3803193+00:00",  
"configurationType": "System",  
"classId": "com.grassvalley.eh.ui.jobMonitor",  
"environment": "default",  
"keys": [  
  {  
    "key": "operationPermittedUsers",  
    "value": [  
      "S-1-5-21-12007755496-1392465844-4090504445-1432"    ]  
  }  
]
```

8. (Template\_Add)config.txt と SID.txt をメモ帳で開きます。
9. (Template\_Add)config.txt に、手順#7 でコピーしたテキストを下の例(赤字部分)のように貼り付けます。
10. 追加したいユーザーの SID を下の例(太字部分)のように貼り付けます。

```
{  
  "id": "cedb17710ccdcbec12569c983dce08f",  
  "configurationType": "System",  
  "classId": "com.grassvalley.eh.ui.jobMonitor",  
  "environment": "default",  
  "keys": [  
    {  
      "key": "operationPermittedUsers",  
      "value": [ " S-1-5-21-12007755496-1392465844-4090504445-1432", " S-1-5-21-  
12007755496-1392465844-4090504445-1432" ]  
    }  
  ]  
}
```

11. config.json としてファイルを保存します。

12. 新しいテキストをメモ帳で開き、(ChorusHub)CurrentConfig\_YYYYMMDDHHMMSS.txt から ” “を含む範囲で ID をコピーして貼り付けます。

```
"cedb17710ccdcdbec12569c983dce08f"
```

13. コマンドプロンプトに戻ります。

14. 登録コマンドを入力して Enter キーを押します。

```
コマンド ehub config update "cedb17710ccdcdbec12569c983dce08f" config.json --input-method file
```

15. ehub config list と入力して Enter キーを押します。

16. SID(赤枠部分)が追加されていることを確認します。確認後はコマンドプロンプトを閉じます。

```
[
  {
    "id": "cedb17710ccdcdbec12569c983dce08f",
    "rev": "1-ad461cf092ef277c98b823207cd5c1c070975831",
    "created": "2024-11-15T09:14:39.8069897+00:00",
    "modified": "2024-11-15T09:14:39.8069897+00:00",
    "configurationType": "System",
    "classId": "com.grassvalley.eh.ui.jobMonitor",
    "environment": "default",
    "keys": [
      {
        "key": "operationPermittedUsers",
        "value": [
          "S-1-5-21-30093137-3780986044-2799668982-1000",
          "S-1-5-21-30093137-3780986044-2799668980-1020"
        ]
      }
    ]
  }
],
```

# 登録した SID を削除する

他の編集者のジョブを操作する権限は以下の手順で解除できます。

1. 編集者 A で OS にサインインします。
2. コマンドプロンプトを開きます。
3. `ehub token request` コマンドを入力して Enter キーを押します。
4. `ehub config list` コマンドを入力して Enter キーを押します。
5. 画面をスクロールして “operationPermittedUsers” (黄色枠部分) を表示させます。

```
"id": "cedb17710ccdccbec12569c983dce08f",
"rev": "1-f80b44741266d882cad218d4d96d4dbd5bf4984d",
"created": "2024-11-12T09:13:39.3803193+00:00",
"modified": "2024-11-12T09:13:39.3803193+00:00",
"configurationType": "System",
"classId": "com.grassvalley.eh.ui.jobMonitor",
"environment": "default",
"keys": [
  {
    "key": "operationPermittedUsers",
    "value": [
      "S-1-5-21-12007755496-1392465844-4090504445-1432"
```

6. “マークを含めて ID(赤枠部分)をコピーします。
7. `ehub config delete [ID]` コマンドを入力して Enter キーを押します。  
→ 今回の場合は `ehub config delete “cedb17710ccdccbec12569c983dce08f”` と入力します。
8. 手順#7 と同じコマンドを入力して Enter キーを押します。
9. 以下のメッセージが表示されたら削除は完了です。

```
"title": "Chorus Hub Error: NotFound",
"status": 404,
"detail": "NotFound: Configuration id
'cedb17710ccdccbec12569c983dce08f' is not found."
}
```

10. コマンドプロンプトを閉じます。